

令和元年度

始良市特別支援教育担当者研修会
始良市地域自立支援協議会子ども部会第1回研修会

場所：始良市公民館



<日 程>

- | | | |
|--|-----------|---------------|
| 1 | 開会行事 | 13:30 |
| 2 | 教育委員会あいさつ | 13:30～13:35 |
| | < 準備 | 13:35～13:40 > |
| 3 | 指導講話① | 13:40～15:10 |
| <p>演題：標準学力検査 NRT を授業にどう生かすか～教研式知能検査
サポート活用の提案～</p> <p>講師：加治木養護学校 耳田 ひとみ 教諭</p> | | |
| | < 準備 | 15:10～15:25 > |
| 4 | 指導講話② | 15:25～16:25 |
| <p>演題：特別支援教育の柱である「自立活動」って何？</p> <p>講師：始良市教育委員会学校教育課 福元 康弘</p> | | |
| 5 | 閉会行事 | 16:25～16:30 |

令和元年8月19日（月）

始良市教育委員会 始良市地域自立支援協議会子ども部会

令和元年度始良市特別支援教育担当者会及び始良市地域自立支援協議
会子ども部会第1回研修会開催に当たって

令和元年8月19日
始良市教育委員会

特別な支援を必要とする子どもは、年々増加傾向にあり、また、そのニーズは多様化しています。全ての子どもは、「学びたい」「よりよく生きたい」という思いをもっています。この思いに応えるためには、私たち自身が、研修を通して、学び続けることが大切です。

今日は、特別支援教育に関する研修として、二つの講義を設定しました。

一つ目は、通常の学級における特別支援教育の充実を目指した講義です。始良市では、全ての小・中学校で、NRT 及び教研式知能検査サポートを実施しています。特に、教研式知能検査サポートについては、特別な支援を必要とする子どもへの支援方法に関する情報が多く掲載されていますが、私たちは、その活用の仕方について、これまで十分に研修ができていなかったように思います。

そこで、加治木養護学校の耳田ひとみ教諭をお招きして、教研式知能検査サポートをどのように読み解き、日々の授業にどのように生かすのかについてご教示いただきます。

二つ目は、特別支援教育の柱である自立活動の充実を目指した講義です。自立活動は、特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室において、必ず実施しなければなりません。しかし、初めて特別支援教育を担当する先生方を中心に、自立活動をどのように実施したらよいか難しいという声が聞かれました。

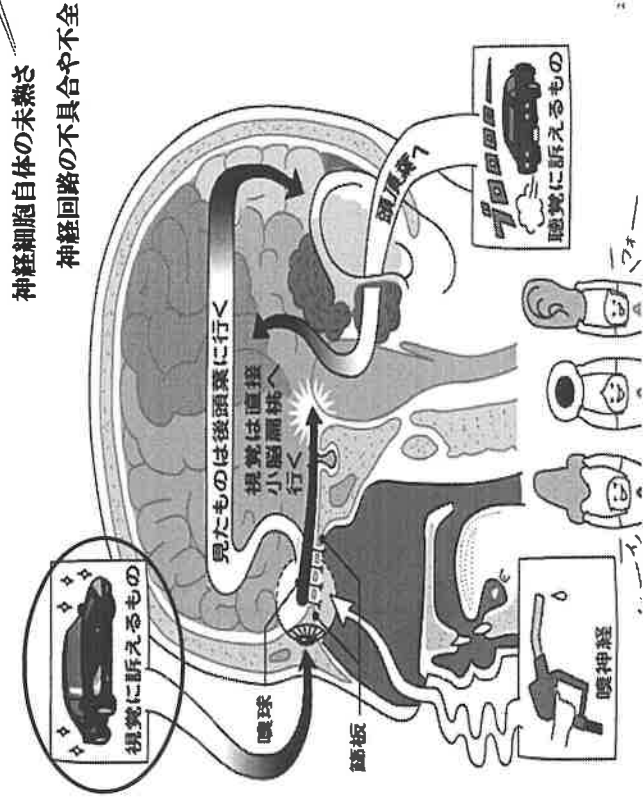
そこで、自立活動の考え方、授業の在り方について、実践例を踏まえながら講義を行います。

この研修会を、二学期からの実践に生かし、子どもの「学びたい」「よりよく生きたい」という思いに、これまで以上に応える授業づくりをしていただきたいと思います。

令和元年度 始良市特別支援教育担当者研修会
始良市地域自立支援協議会子ども部会 第1回研修会

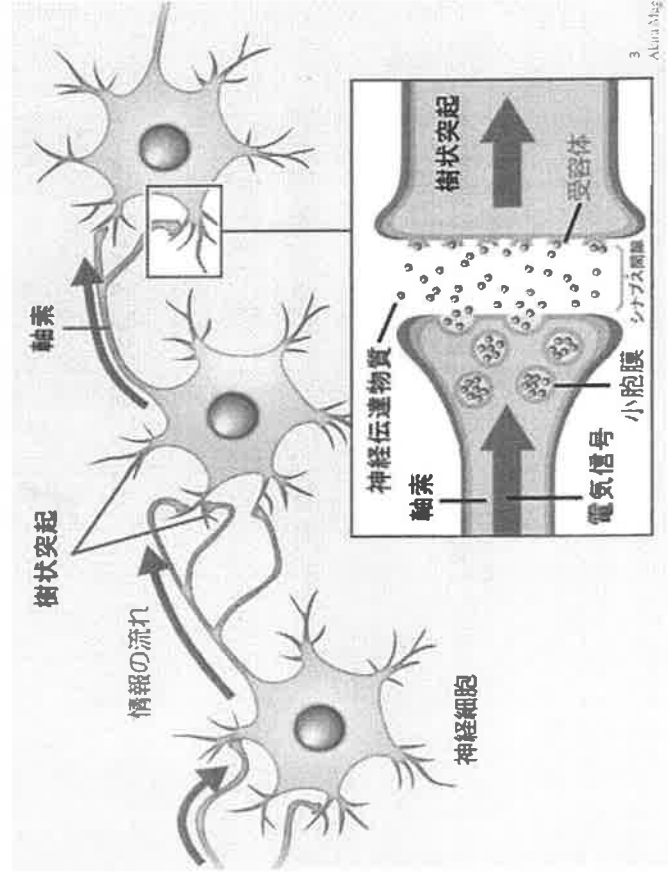
「標準学力検査NRTを授業にどう生かすか ～教研式知能検査サポート活用の提案」

令和元年8月19日(月)
県立加治木養護学校
耳田ひとみ

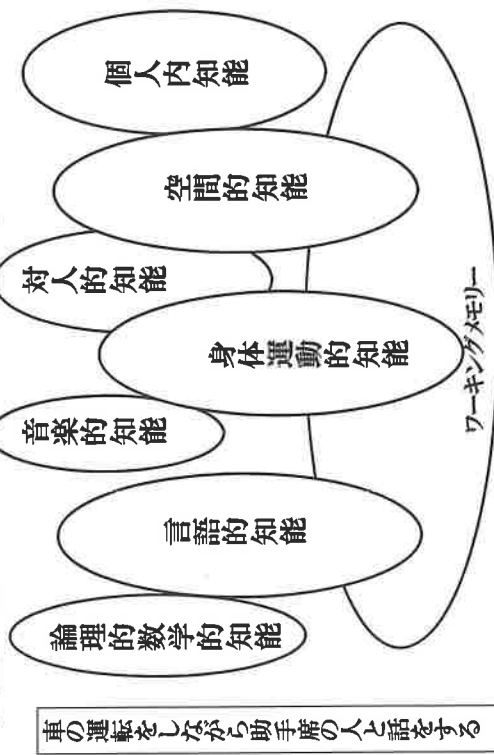


理解のポイント

- ① 認知処理過程の困難
 - 視覚・聴覚情報の「入力過程」
 - 頭の中で考えたり、記憶にとめたり検索したりの「情報処理過程」
 - 話す・書く等の「出力過程」
- ② 脳のワーキングメモリーと実行機能の課題
 - 作業記憶・短期記憶
 - 「ちょっと待てよ。」→ 最適な手段の実行



多重知能モジュールとワーキングメモリー



5

発達障害当事者の要望

- ① 発達障害本人にあった学習の方法を考慮してほしい
- ② 教師に対して発達障害児の理解・啓発を進めてほしい
- ③ マイナス面を見ずにプラス面を評価してほしい
- ④ 発達障害をオープンにできるようにしてほしい等

生徒のわからなさ・うまくいかなさに気付けるか？

7

ワーキングメモリー

1. 今やっていることを意識に停めておく
2. 今やっていることを続けて行う
3. 順を追って行う作業の模倣
4. 今やっていることを過去の記憶と比較する
5. これからやることを過去の記憶と比較する
6. 少し先まで推測する
7. 現在の自分の状態を省察する
8. 時間経過の意識
9. 一定のルールに従った作業の遂行
10. 個々の作業の前後関係の調整

6

支援の基本

- ① 生徒の情報を集める
 - うまくいかない場面だけでなく、うまくいっている場面
 - どんな状況(いつ、だれと、どこで)で起こっているか
 - 教師間、保護者、関係機関 等
- ② 「できること」を発見する
- ③ 自己評価を高める

8

教研式知能検査サポートの活用

相対評価 (NRT) 集団内での位置を示す

※知能検査とのテストバッテリー可

その目的は？

到達度絶対評価 (CRT)

個人の目標などの達成度を示す

9

教研式新学年別知能検査サポート

- 集団的知能検査
- 通常1時限内で実施
- 知的発達の程度を全国の標準化実験に照準
- 個人内の知的機能の特徴をみる
- 学習素材への適正・作業のペースや正確さと学習スタイル診断を行う

10

教研式知能検査サポート結果一覧の読み取り方

A 基本資料

知能偏差値;ISS

知的能力の総合的水準、基準値は50
同じ生活年齢 (CA) のものと比較し相対的位置を表す

知能指数;IQまたはD.IQ
解釈の基準値は100

B式知能 (偏差値)、基準値は50

絵や記号などを題材として具体的知能をはかる

A式知能 (偏差値)、基準値は50

数や記号などを題材として抽象的知能をはかる

知能のタイプ (Bタイプ Aタイプ)

個人内評価においてB式偏差値とA式偏差値との差が7以上あるとき、
B式偏差値が高いものはBタイプ、A式偏差値が高いものはAタイプ

11

教研式知能検査サポート結果一覧の読み取り方

B 指導に役立てるための資料

一人の子どもを横軸に検討する

⇒ 「3」が普通

5段階点の最大値と最小値の差が3以上ないか

⇒ 「5」, 「4」の中に「1」や「2」がある

「1」や「2」だけでも「4」, 「5」が一つある



その意味するところを総合的に分析する

12

教研式知能検査サポート結果一覧の読み取り方

B 指導に役立てるための資料

素材から見た知能の特徴(5段階評価)

図形的；形・大きさをもつ「図形」を素材とした問題に答え
る力をみる

B式

記号的；意味をもつものを「シンボル(言語や記号)」で
表現する力をみる

ほぼB式

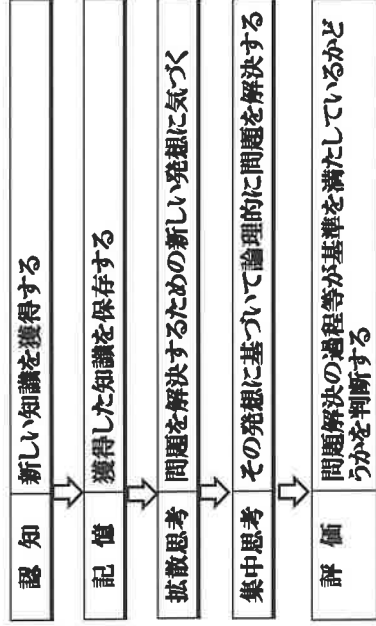
意味的；「意味」をもつ文章などを素材とした問題に答え
る力をみる

A式

13

機能から見た「知能」の特徴

ギルフォードの知能構造モデル説採用



14

教研式知能検査サポート結果一覧の読み取り方

B 指導に役立てるための資料

機能から見た知能の特徴(5段階評価)

認知；ものの特質を直感的に「気付く」「分かる」働き

記憶；「覚える」「保持する」「再現する」働き

拡散思考；たくさんの「新しい考えを次々に生み出す」働き

集中思考；論理的に「正しい答えを導き出す(問題解決)」
働き(筋道立てて考える)

評価；結果が「正しいかどうかをチェックする」働き

どのように頭を働かせるかに注目し、学習場面でもおおよその順序で頭
を働かせることになる

15

教研式知能検査サポート結果一覧の読み取り方

B 指導に役立てるための資料

創造的思考(5段階評価)

流暢性；思考の速さ・滑らかさ。どれだけ「多くの」答えを出
せるかという思考の滑らかさ

柔軟性；観点の広さ・多様さ。どれだけ「他種類の」答えを
出せるかという思考の柔らかさ

問題解決に際して、いろいろな観点から検討し多様な答えをたく
さん生み出していく能力

16

教研式知能検査サポート結果一覧の読み取り方

B 指導に役立てるための資料

知的作業の特質(遅い・普通・速い, 正確さ)

遅い・普通・速い; 「着手数(正答の数, 正誤は問わない)」から評定

正確さ; 「正答率[(正答数÷着手数)×100]の数値で表示

同じ得点(正答数)でも「速くて不正解」「速いが正確」など、一人一人の違いが見える

17

教研式知能検査サポート結果一覧の読み取り方

C 学力評価に用いる資料

学習基礎能力偏差値(BSS)

検査得点を「検査の実施月」の全国平均を基準にして求める偏差値。学力偏差値の求め方と同じ考え方。

検査を受けた時点で、どの程度の能力(学習基礎能力)をもっているかを表示。

18

教研式知能検査サポート結果一覧の読み取り方

D 学級集団理解のための資料

○ 知能力偏差値(BSS)の分布

その集団が、どのような知能偏差集団となっているか
→ 「3」を頂点とする均等な山形ではない

○ 男女別のB式、A式知能の割合と学級平均

○ その集団の知能の機能(能力)ごとに割合として表示

19

学習スタイル活用シート

1 学級一覧表

2 学習ペースと学習適性

学習ペースと学習適応の組合せで、学級の児童生徒を9つのグループに分類しそれぞれに合った指導法を工夫して個性に応じた授業を展開

20

学習スタイル活用シート

2 学習ペースと学習適性

	Aタイプ 抽象言語型 (説明を聞く、文章を 読む、話をする、文章 を書くなど、言語を媒 介した学習が得意な タイプ)	バランスタイプ 抽象言語と感覚運 動とのバランスが 取れているタイプ	Bタイプ 感覚運動型 (テレビ・ビデオな ど視聴覚教材を使 う学習や具体物の 操作など動きを 伴った学習が得意 なタイプ)
H			
M			
L			

(計の欄における%に注目する)

学習スタイル活用シート

2 学習ペースと学習適性

	Aタイプ	バランスタイプ	Bタイプ
H 学習過程での中間目標の数を少なく し大きなステップで学習するとよい 学習目標を短時間でクリアできるの で発展的課題を与える準備を要する			
M HとLの中間に位置するタイプ			
L 学習過程での中間目標の数を多くし 小さなステップで学習するとよい 時間をかけて基礎的・基本的な学習 目標をクリアさせたい			

(計の欄における%に注目する)

学習適性と学習活動(Aタイプ)

個性伸張のために	基礎基本の徹底のために
・発見学習 ・レポート作成 ・研究発表 ・文集の編集・構成 ・作文(自由課題) ・司会進行 ・討議・ディベート ・辞書の活用(反対語・類語調べなど) ・読書感想文 ・学級新聞・壁新聞の記事作り	・読み聞かせ ・話し合い ・長文学習(段落→全体) ・日記(体験の言語化) ・辞書の利用(語の意味調べ) ・読書及び読書ノート ・テープ・CD教材の活用 ・言葉遊び(課題しりとり、なぞかけなど) (補充として) ・図表の読み取り ・地図作成

学習適性と学習活動(Bタイプ)

個性伸張のために	基礎基本の徹底のために
・体験学習 ・観察、実験 ・数値のグラフ化 ・文集の装丁、レイアウト ・図表やパフォーマンスを多用した研究発表 ・パソコンを活用した自主学習 ・図面を見て実物を作成させる ・学級新聞や壁新聞の図表やイラスト作り	・実物展示 ・パソコンを利用した基礎・基本の学習 ・パソコン作図ソフトなどの利用 ・テレビの教育番組の活用 ・絵日記 ・模写 ・ゲーム、演劇 ・グループエンカウンター (補充として) ・話の読み聞かせ、読書習慣付け ・絵や図の言語化

標準学力検査(NRT)との バッテリー利用

学力偏差値 — 知能から期待される学力偏差値
(新成就値)

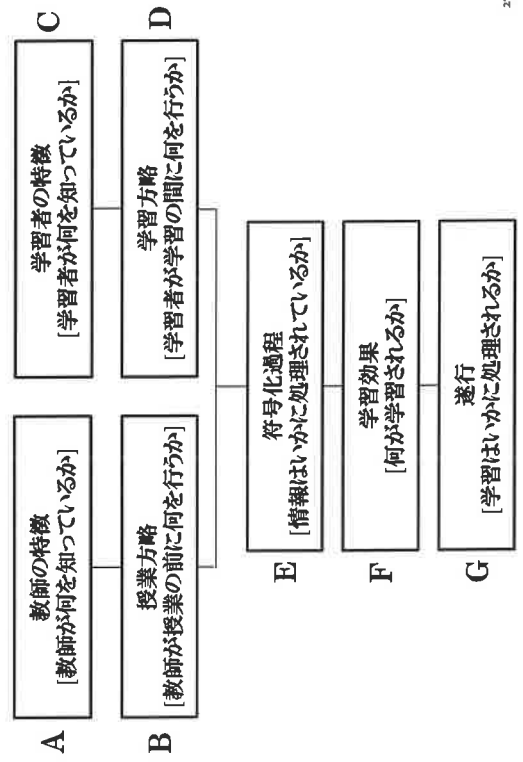
オーバーアチーバー
バランスドアチーバー
アンダーアチーバー

※その原因を分析対応

25

∞

教授—学習過程の枠組み(ワINSTAインら)



27

学習スタイル活用シート

3 課題解決スタイル(知的作業の特質)

知的課題を解くときの特徴を「速さ」と「正確さ」の二つの観点を組み合わせて判定

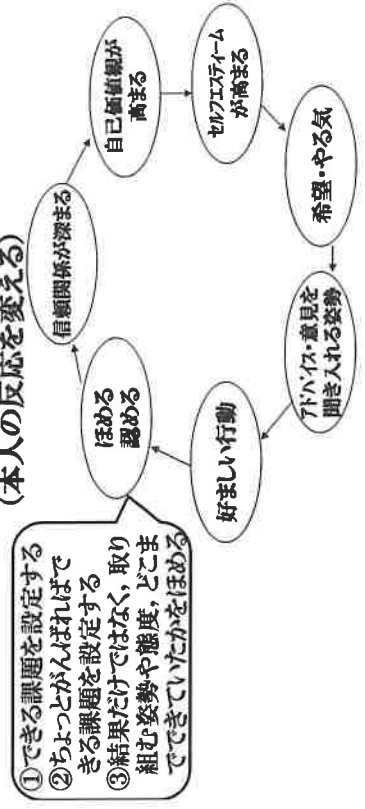
26

行動上の問題への基本的対応(基盤になるもの)

不適応行動が生起する循環の流れをどこかで断ち切る

二次障害の発生を極力防ぐ

「よさ」を認め、自信を持たせ、自己評価を上げさせる
(本人の反応を変える)



28

発達障害に起因する二次障害を考える

- 学業不振
- 不適応行動
- 自己肯定感の低さ
- 登校しぶり
- 引きこもり

進路指導 } 上の課題になっている
生徒指導 }

29

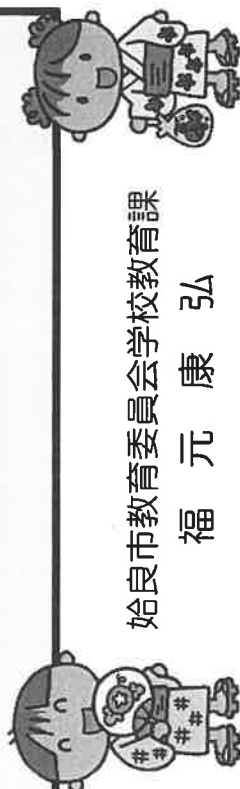
参考文献

- 「ADHD及びその周辺の子どもたち」
- 「学習障害(LD)及びその周辺の子どもたち」
- 「高機能自閉症・アスペルガー症候群及びその周辺の子どもたち」
尾崎洋一郎 草野和子 他著 (2006 同成者)
- 「ササッとわかる アスペルガー症候群との接し方」
榎原 洋一(2009 講談社)
- 「アスペルガー症候群学習障害
(ここまでわかった子どもたちの心と脳)」
榎原 洋一(2003 講談社+α新書)
- 「特別支援教育の理論と実践 I 概論・アセスメント」
特別支援教育士資格認定協会編 上野一彦他監修(2013 金剛出版)

30

今日のめあて

特別支援教育の柱である 「自立活動」って何？



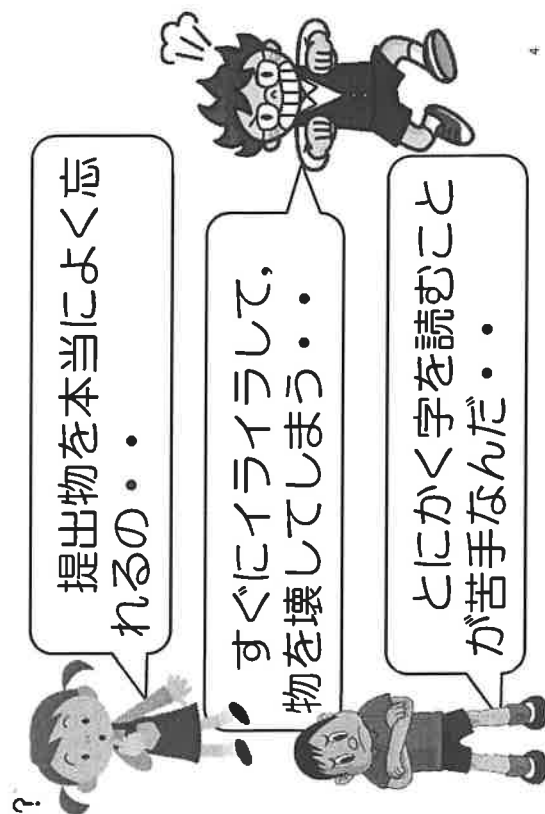
始良市教育委員会学校教育課
福元 康弘

自立活動の考え方をとおまかに
知ることができる。

自立活動の指導は、特別支援学
校、特別支援学級、通級指導教室
では、必ずしなければならぬ！

各教科	自立活動
学習指導要領に、各学 部で目標が示され、内容 に段階が設けられている。 目標の系統性や扱う順 序性が示されている。	学習指導要領に目標の 系統性や、扱う内容の順 序性が示されていない。
年間指導計画に沿って、 授業が行われる。	いつ、何を指導するの かは、指導を担当する教 師が、障害の状態や発達 段階等を踏まえて決定し なければならぬ。

子どもの悩み



子どもの悩みに対して・・

どの教科で教えますか？

注意を繰り返して改善されまし
たか？

原因を探って、丁寧に指導する
必要はありませんか？



自立活動の指導

特別支援学校教育要領・学習指導要領解説
自立活動編(幼稚園・小学部・中学部)平成30年3月

自立活動の目標

個々の児童又は生徒が自立を目標とし、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。

自立とは

児童生徒がそれぞれの障害の状態や発達の段階等に応じて、主体的に自己の力を可能な限り発揮し、よりよく生きていくとすること。

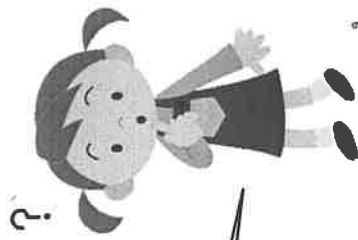
いつ自立活動の指導を行うか

時間割に特設して指導する

学校の教育活動全体で指導をする

マイさん

(自閉症・情緒障害特別支援学級
小学三年生)



提出物を本当に
よく忘れるの・・・

9

提出物を忘れないために、
どんな指導をする？



10

調べること

- 他に気になることはないか？
- できること、得意なことは何
か？



自立活動の内容で整理する

- 原因は何か？



個別の知能検査をする

11

自立活動の内容

1 健康の保持

健康状態の維持・改善

2 心理的な安定

- 気持ちや情緒のコントロール
- 自己の良さに気付く

3 人間関係の形成

- 自他の理解
- 集団参加の基盤

12

自立活動の内容

- 4 環境の把握 感覚の活用, 概念
- 5 身体の動き 体の基本動作
- 6 コミュニケーション 場や相手に応じた
コミュニケーション

13

マイさん

- 1 健康の保持 健康よ。でもよく転
んで保健室に来るわ。

- 2 心理的な安定 音楽のときも, 落ち
着かずキョロキョロし
てることが多いわ。

- 3 人間関係の形成 授業中に話を聞いてい
ないことが度々あるわ。

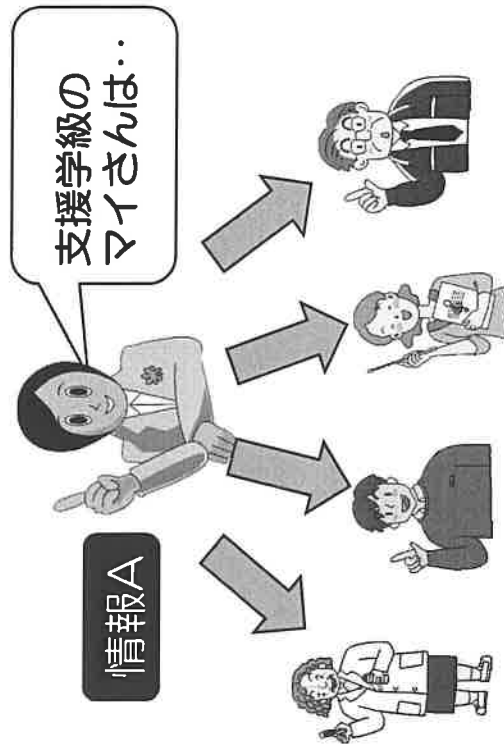
14

自立活動の内容

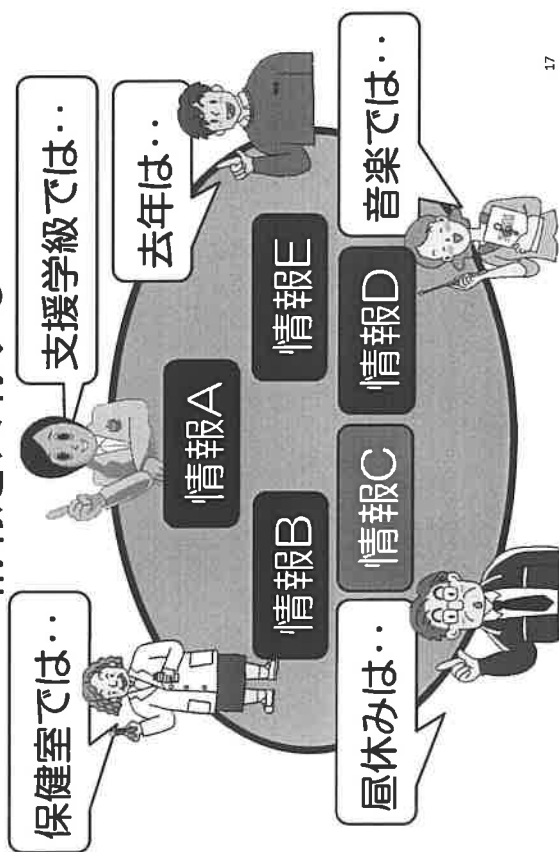
- 4 環境の把握 手先がすごく器用!
去年も作品展で賞状を
もらってました。字もき
れいです。
- 5 身体の動き
- 6 コミュニケーション 昼休みは, うちのクラスで
アニメの話をしています。

16

情報を共有する?

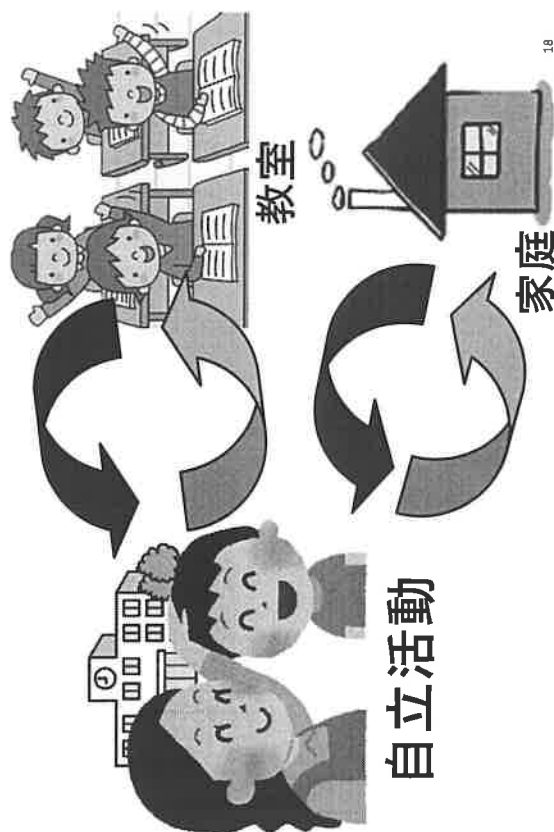


情報を共有する



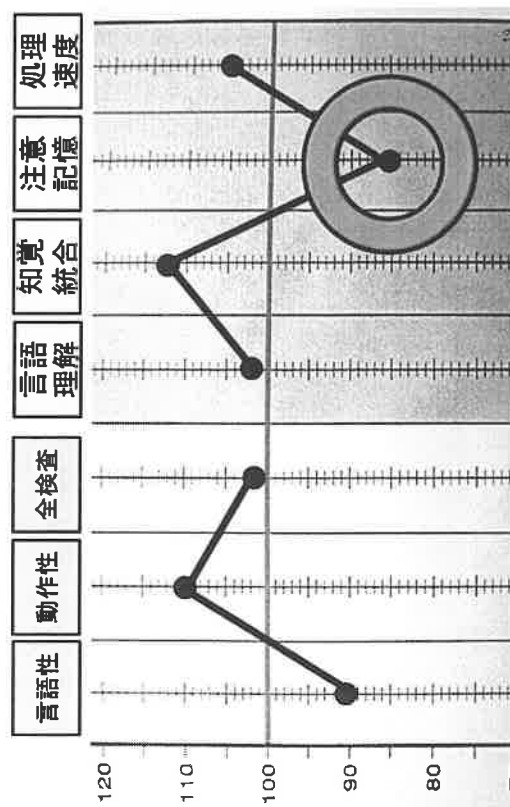
17

自立活動は連携が鍵



18

原因を探る(なぜ忘れるのか?)



20

自立活動の指導

目標

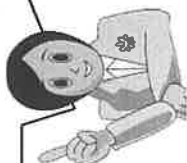
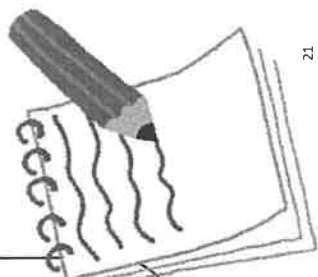
「聞いたことをメモにとることができる」



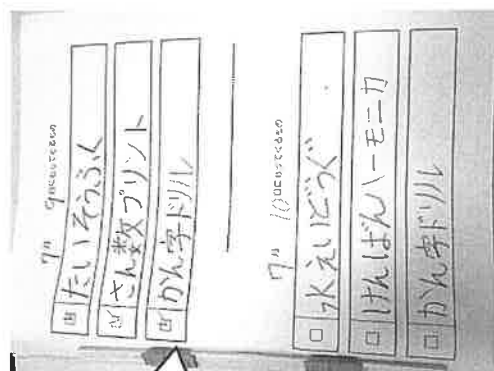
- 自分の悩んでいることが解決できる内容に！
- 得意なことを生かせる内容に！
- 意欲的に取り組める内容に！

教師の指示をメモにとってアイコンビーズをつくる
(時間割に特設した自立活動)

「青のビーズを後ろの棚からとってきてください」
「白のビーズを前の箱からとってきてください」
「〇時〇分になったら片付けてください」



帰りの会の前に取り組む自立活動
(教育活動全体で行う自立活動)

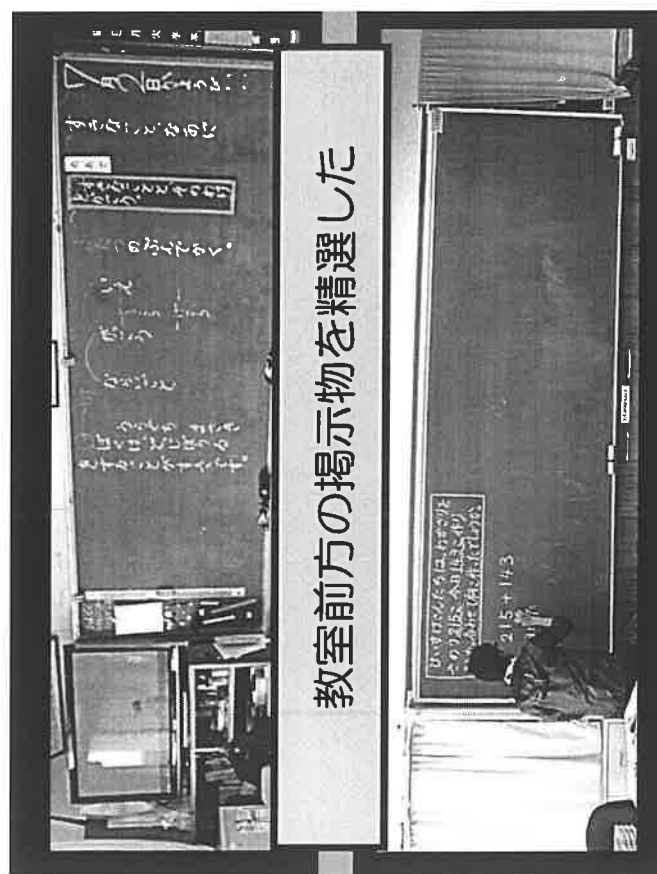


家でランドセルに入れたら、チェックを付ける。

達成基準：10日間連続で提出物を出すことができる。

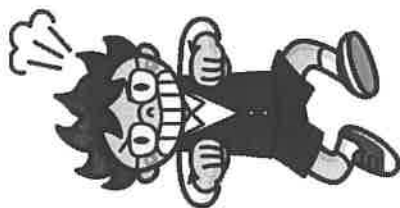
[illegible]

9/	9/	9/	9/	10	10	10	10	10	10
25	26	27	30	/1	/2	/3	/4	/7	/8
○	○	○	×	○	○	○	○	○	○



ヤスくん

(知的障害特別支援学級：中学
二年生)



すぐにイライラして、物を壊してしまっ..

25

調べること

- 他に気になることはないか？
- できること、得意なことは何か？
- 原因は何か？



自立活動の内容で整理する



個別の知能検査をする

27

イライラをコントロールできるようにするために、どんな指導をする？



26

ヤスくん

物を壊して手を切ったことがあるわ。

1 健康の保持

見通しがもてなかったり思いどおりにいかないと物を壊します。

2 心理的な安定

思い込みから勘違いして怒ることもあります。

3 人間関係の形成

イライラしているときは、みんな近付かないよ。

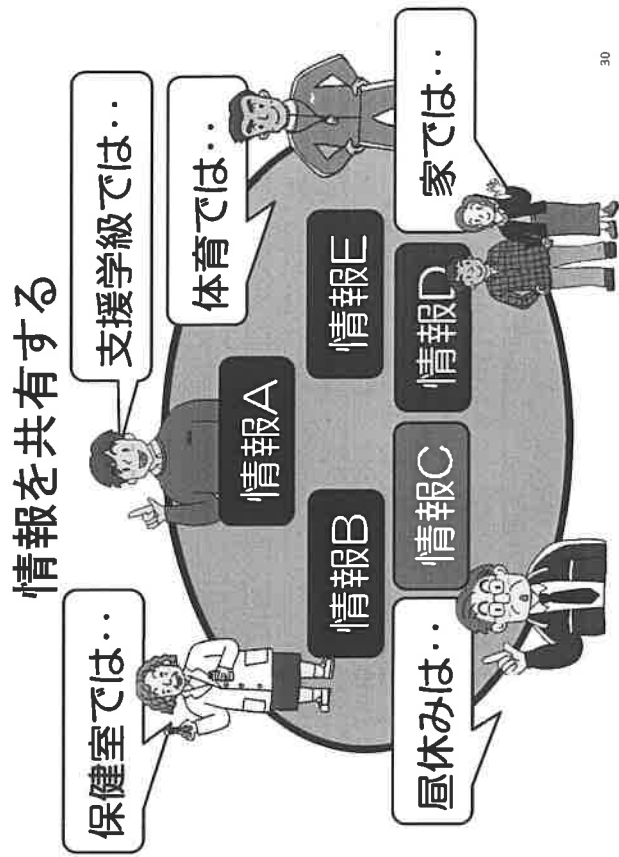


自立活動の内容

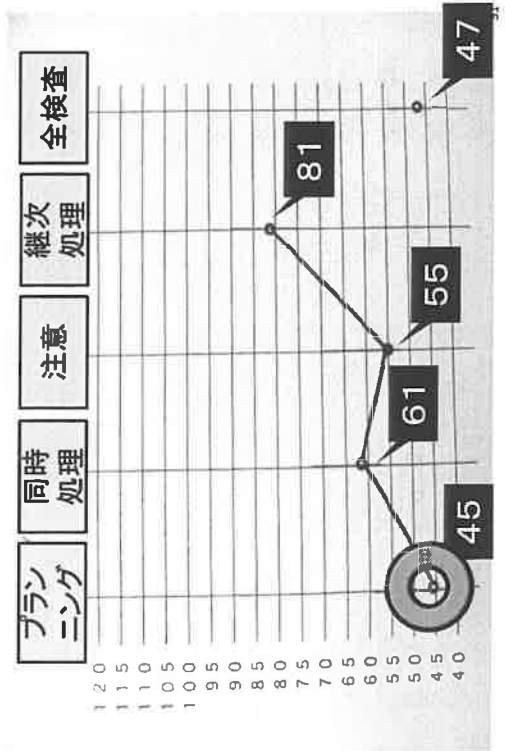
- 4 環境の把握


力のコントロールができていないよ。動きが固くてぎこちない。常にかが入っている感じ。
- 5 身体の動き
- 6 コミュニケーション


ワンピースの映画を見に行くと丁寧な敬語で話してくれたことがあったよ。



原因を探る(なぜ怒りやすいのか?)



自立活動の指導

目標

「イライラしても深呼吸をするなどの方法で落ち着くことができる」

- 自分の悩んでいることが解決できる内容に！
- 得意なことを生かせる内容に！
- 意欲的に取り組める内容に！

スケジュール帳をつける
(時間割に特設した自立活動)



33

視点を切り替える力を高める
(時間割に特設した自立活動)

ネガティブ	ポジティブ
① 気が短い	イ仕事早い
② 気が弱い	やさしい 相手の気持ちを考えて まわりに流されない せいしめんが強い
③ 聞き分けがない	せんさい まじめ やさしい
④ 傷つきやすい	

34

チューブ体操で力の抜き方を体感する
(時間割に特設した自立活動)



35

感情日記をつける
(教育活動全体で行う自立活動)



36

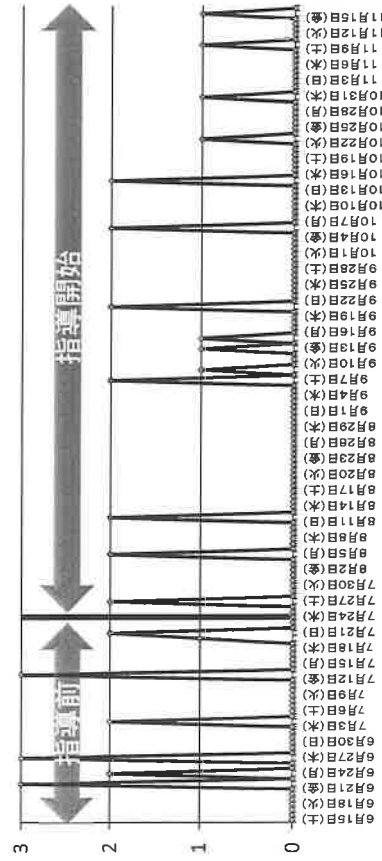
家庭との連携

[illegible]

家庭で記録をとってもらう。記録用紙も、保護者と話し合って、記録しやすいものを作成する。

指導の有効性を評価する

- 1 壊さないが床や壁を叩く、嫌なことを言う
2 暴れる、小さい物を壊す、物を投げる
3 激しく暴れる、大きな物や壁を壊す



家かんしゃく(暴れる、物を壊す行動)の推移



自立活動の指導で大切なこと

指導の道筋そのものを組み立てていくことが求められる。

子どもの思いに丁寧に向き添うこと。

教師同士や家庭、関係機関と連携すること。

客観的な検査を生かして原因を探ること。

個別の指導計画を作成・活用すること。